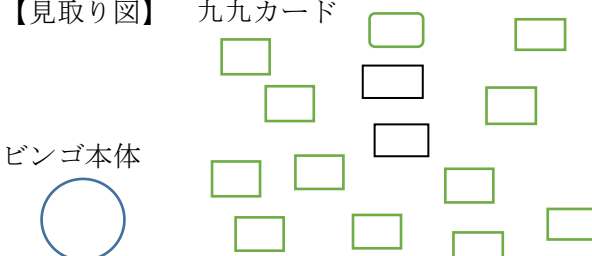


【作品名】 かけ算ビンゴ	【学校名】 日立市立大沼小学校
【活用できる領域・教科等】 算数科・生活単元	【制作者名】 大串 多鶴子
【制作の意図】 楽しみながら、かけ算九九の習熟を図る。唱えるだけの機械的な暗記ではなく、答えから九九を導き出す思考も大切にできる。ビンゴの機械の操作をしたり、カードを選ぶために、目で追う操作をしたりとかけ算九九の習熟が図れる。わり算の学習につなげることもできる。	【使用方法】 九九の式を取り札として広げておく。ビンゴセットを回し、数字を出す。出た答えになる式を探してカルタのように取る。子供の状況によって、カードの数やチップの数を調整する。(2の段だけとか、答えが30までのだけなど)
	【見取り図】 
【写真】 	【使用効果と応用発展】 小集団の授業の中で活用できる。 自分の九九カードを用意することで、大人数でもかけ算ビンゴをすることができる。 よく見た、聞いたりしながら役割交換も経験できる。 楽しみながら九九を応用することができる。 「答えが12になるのは、○×○がある？」と聞くことにより、九九の決まりについても考えることができる。
【材料・材質・部品名】 ・ビンゴ本体 ・かけ算九九カード ・記録用紙	覚えにくそうな九九の段を抽出して行うことで、ビンゴで楽しみながら覚えることができる。